

ぼうさい通信 50号



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和3年12月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 「降雪・積雪・凍結への備え」

12月になりました。これから寒さは一段と厳しくなり、例年1月～3月にかけて降雪や積雪が観測されています。熊本では平成28年（2016年）1月23日から24日にかけて積雪がありました。24日の気温は日中も氷点下のままで、記録的な寒さでした。

今月は「降雪・積雪・凍結への備え」として、熊本市内で予想される雪害・凍結の代表的なものを2つ紹介します。雪や凍結でどのような災害が予想されるのか考えましょう。裏面には12月6日（月）に行った三課程合同避難訓練の様子と気づきを紹介します。

参考：首相官邸 <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/setsugai.html>

RKK 熊本放送 <https://blog.rkk.jp/sorairo/2016/01/24/>

ウェザーニューズ <https://weathernews.jp/s/topics/202012/310085/>

①歩行中の雪道での事故

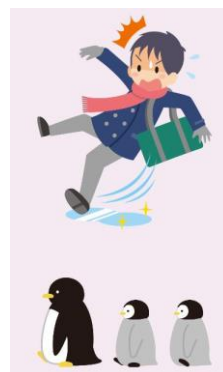
冬期間は豪雪地帯に限らず、雪が少ない地域でも、積雪・凍結を原因とする転倒災害が多く発生しています。事故が多く発生している滑りやすい場所を確認しておきましょう。

～滑りやすい場所～

- 横断歩道の白線の上
- 車の出入りのある歩道
- バスやタクシー乗り場
- 坂道

～雪道を安全に歩くポイント～

歩幅を小さくし、そろそろと歩きましょう。
「ペンギン歩き」が基本です。



※自転車等の車両で通学する人は特に注意しましょう。

天気予報などで凍結が予想される場合には公共交通機関等を利用しましょう。

②水道管の凍結

水道管が凍結すると、給水できなくなるだけでなく、設備が損傷したり、水道管が破裂してしまうことも考えられます。水道管凍結を予防するための2つの対策と凍結した場合の対処法を紹介します。

～水道管の保温～

水道管や蛇口など断熱材が巻かれていない部分に、布や気泡緩衝材などを巻き付けてテープで固定し、熱が逃げないようにします。

～水をチョロチョロ出しておく～

夜間に蛇口を少し開けて水をチョロチョロと出しておくことで凍結しにくくなります。たまった水は洗濯などにご使用ください。

～もし水道管が凍結したら～
日中に気温が上昇すれば、水は出るようになります。どうしても水が必要な場合には、水道管の凍結した部分が表に見えている部分であれば、タオルなどの上からぬるま湯をゆっくりかけてください。

このとき、熱湯は使用しないでください。水の体積が急激に増えると水道管が破裂するおそれがあります。



12月6日（月）の三課程合同防災避難訓練の様子と気づきを紹介します。
避難訓練の様子

①1次避難



緊急地震速報を聞いて、机の下に避難します

②2次避難



非常階段も利用して、グラウンドに避難します

③整列・点呼



授業毎に整列し、整列・点呼をします

④報告



授業担当者が教頭先生に報告します

⑤消防署からの講評



中央消防署出水出張所から講評をいただきました

⑥職員も避難



定時制・通信制の職員も避難をしました

三課程合同防災避難訓練の気づき

同日に消防署や熊本市などの本校防災・避難所関係者で学校運営協議会を行い、訓練の様子観察および意見交換を行いました。その一部を紹介します。

- ・落ち着いて避難できていた。私語があったが、地震や火事の場合には冷静な行動が必要です。有事を想定して指示に従えるように訓練に取り組むことが大切です。
- ・災害はどこであるか分かりません。自宅や登下校中など、いろいろな場所や時間を想定して臨機応変に行動できるようにしましょう。数年後には、社会の一員として地域や会社などで他者を守る立場になります。
- ・AEDや救急バッグを持ち出されていたのはよかったです。

過去のぼうさい通信を見ることができます

本校のHPにアクセスしてみましょう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信（毎月16日発行）

右のQRコードからもアクセスできます。

